

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	292700028		
法人名	社会福祉法人水鏡会		
事業所名	グループホームひだまりの里		
所在地 (電話番号)	〒039-0814 青森県三戸郡南部町垵渡字館2番地7 (電話) 0178-84-4774		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 11月 5日	評価確定日	平成 20年 12月 14日

## 【情報提供票より】(平成20年10月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 19年 6月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	20 人	常勤	20人, 非常勤 0人, 常勤換算 14人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 ~ 27,000 円	その他の経費(月額)	3,000 ~ 冬期4,800 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

### (4) 利用者の概要(10月15日現在)

利用者人数	27 名	男性	7 名	女性	20 名
要介護1	3 名	要介護2	10 名		
要介護3	6 名	要介護4	4 名		
要介護5	4 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.7 歳	最低	58 歳	最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 きむらクリニック
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然に囲まれ閑静な場所に立てられている『ひだまりの里』は、その自然のなかで、鯉や鳥を飼育し、ホーム内では、猫と犬が入居者を癒してくれている。入居者の外出への取り組みや、支援も積極的に行なわれており、他市町村からの入居者であっても、故郷の行事への参加もできている。介護施設であったことから、ホーム内は広い空間が多いが、入居者の作品を綺麗に飾るなどで有効に利用している。なじみの関係を重要視し、入居者ひとり一人を大切に思い、ケアを振り返りながら、管理者、職員が前向きに取り組んでいるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域との関わりが不十分との指摘に対し、町内会への入会の承諾を得ていないことから、今回も取り組みを期待したいところである。自己評価について、管理者主体となっていたが、今回は全職員で取り組み、ケアの確認が行なわれている。家族等の連絡については、ホームだよりの発行や、家族に合わせた連絡方法がとられるなど改善が見られている。玄関への施錠についてもアラームの設置により改善されてある。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、全職員で取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は組織され、定期的開催されてある。利用者の入退居の状況や、サービスの評価、要望、行事の計画や報告等情報交換が行なわれている。地域の代表者が加わることで、災害対策も万全になってくると思われるので、参加できるように働きかけて欲しい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会時の報告や、手紙やメールでの連絡、ホームだよりの送付など、家族への連絡は十分に行なわれている。各ユニットには、投書箱が設置されており、家族の意見・苦情を取り上げることでサービスの質の向上へとつなげている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>日々の散歩や職員の挨拶、地域の行事参加等を通じて、地域の人々との交流が行なわれているが、町内会への入会の承諾を得られることで、施設の理解を深められ、災害時の対応も安心なものとなっていくと思われるので、町内会へのアプローチも継続して欲しい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者の出身地は多方面にわたっているが、個々の出身地を尊重し、家族の一員として、地域の中でその人らしく生活してほしいと考え理念に掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝の申し送りでは、理念を全職員で唱和している。また、理念の実践に向けて必要と思われるものについては、その都度ミーティングや勉強会等で確認している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	管理者や職員、利用者は日々の散歩や、地域の行事を通じて地域との交流が行なわれている。自治会への申し込みも行なっていて、地域の一員としてさらに交流を深めていきたいという思いが感じられる。		自治会への働きかけに対して、自治会側の受け入れに時間を要しているようであるが、これからも地域などの行事に参加するなどして、理解を得られるよう努力して欲しい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、全職員で取り組んでいる。また、評価を活かしての取り組みも行なわれている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は定期的開催されており、行事や利用状況等を伝えている。会議では、意見や要望を出していただき、サービスの向上に努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも、福祉担当者と連絡を密にとり、運営の方針上の相談や課題解決に向けて考えを共有できるように連絡体制をとっている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>内部研修等の実施で、全職員が制度について理解している。必要な人には、活用できるように支援し、現在成年後見制度を利用している人もいる。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会やミーティングでお互いに理解や遵守に向け注意し取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時の説明は丁寧にされてある。疑問や不安があるときは、その都度詳しく説明し納得して頂いている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時に利用者の状況を細かく報告し、遠方の家族には、手紙や電話で報告している。会報も送付し、希望があればメールでの報告も行なうなど、家族に合わせて行なわれている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や家族参加の行事等で、気軽に話せるような雰囲気作りに心がけ、意見や要望等を聞くようになっている。また、ホーム内には、投書箱も各ユニットに設置されてある。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>顔なじみの関係が築かれていることから、異動はできるだけ行なわないよう努力している。やむを得ない場合には、ダメージを与えないよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>必要とされる研修には、職員を参加させている。また、研修案内は、掲示板にて全職員に知らせ、希望があれば、研修に参加できるように配慮するなど、積極的である。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム間の勉強会や親睦会などで交流を深めていて、情報交換も行なわれている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>生活歴を考慮し、本人や家族とコミュニケーションを図りながら支援している。大きな家具等の持ち込みは見られないが、愛用していた小物などが持ち込まれ、馴染みのもので安心した生活ができるように支援している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>その人らしさを尊重し、ゆったりした時間を作り、本人に寄り添い、言葉に耳を傾けるように取り組んでいる。食事づくりや、畑作業、環境整備など、一緒に行なうことで、互いに支え合う関係が築けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけ、把握に努めている。意思の疎通が困難な方には、家族や関係者から情報を得るようにしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族や本人の希望を考慮し、毎月、ケアカンファレンスで意見交換し、本人がよりよく暮らすためのケアのあり方を考慮し、介護計画の作成をしている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画を定期的に見直し、状態が変化した際には、再度検討、見直しが行なわれている。家族にはその都度連絡し、状況の報告・相談を行い、現状に即した介護計画を作成している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人の車輛を利用することで、時間に追われることなくドライブや行事に参加できている。家族と一緒に出かけられることも出来ている。買い物などの要望には、希望時に外出できる支援体制が整っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の希望と病状、家族の希望を考慮しかかりつけ医を判断し支援している。受診は家族の付き添いにて行なわれているが、医師に伝える文章を作り、かかりつけ医との関係も築いている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期については十分に本人、家族へ説明し、話し合いの場を設けて方向性を協議している。入居時の重要事項説明書にも重度化した場合の対応について、看取りに関する考え方を文章化し、説明、納得して頂いている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関しては契約時に十分に確認し、生活の中でプライバシーが守られるような取り組みをしている。入居時の重要事項説明書に『個人情報利用同意書』の中で使用書類、掲示、配布場所に同意の有無を文章で確認している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせ、利用者の訴えを尊重し、一人ひとりの希望にそった支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や配膳、片付けなど職員と一緒にこなしている。食事が楽しいものになるように、利用者の好みを取り入れるなど配慮が見られている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴曜日を定めるなどの、一応の日課はあるが、希望があれば、できる限り希望時間に入浴できるように体制はできている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者ができること、していたことを把握して、日常生活の中で取り入れ、促し支援している。		
28	58	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩等は本人の希望により行なわれている。ホーム直近の周りは散歩がしやすいように安全に配慮して整備されており、一人でも外出できるようになっている。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる具体的な行為を全職員で正しく理解し、拘束のない自由な生活を提供している。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの周りは崖や坂道があり、危険回避のため、職員の手薄な時はやむを得ず施錠する事もあるが、出入りがわかるよう玄関にアラームを設置するなど、鍵をかけないケアの実践のための努力をしている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は、消防団の協力も得ながら定期的開催されているが、地域の協力体制がまだ十分とはいえない。		運営推進会議や町内会入会を機に、地域住民との協力体制が確立できるよう期待したい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同系列の施設の栄養士の指導もあり、献立の内容や、食事摂取量や水分摂取量のチェックを行なっている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は利用者・職員ともに実施されてある。その他の感染症についても、マニュアルは作成されており、予防、対応に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を飾るなど、季節感を楽しんでもらえるように心がけている。心地よく生活できるようにと、音、光、匂い等にも気を配っている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>今まで使用していた家具や思い出の品を持ち込んでいただくようにしている。持ち込んだ品は家族の工夫で、本人が生活しやすいように置かれたり、思い出の写真や、馴染みのものを飾り、居心地良く過ごせるように配慮している。</p>		

 は、重点項目。